

総説 (雑誌)

●平成25年度 (2013.4~2014.3) ●

- 1) 1,25水酸化ビタミンD 大藺恵一
内分泌・糖尿病・代謝内科, 36 (4) : 382-389, 2013.
- 2) 骨細胞による骨形成の制御 大藺恵一
THE BONE, 27 (3) : 59-64, 2013.
- 3) 小児科学 大藺恵一
日本医事新報, 4685 : 38-43, 2014.
- 4) ビタミンD欠乏症 大藺恵一
ホルモンと臨床, 60 (9) : 59-65, 2012.
- 5) Adrenoleukodystrophy 三善陽子, 大藺恵一
ホルモンと臨床, 60 : 25-30, 2013.
- 6) 口唇の色素沈着② 三善陽子, 大藺恵一
小児内科, 45 (10) : 1852-1855, 2013.
- 7) 性腺機能検査 橘 真紀子, 三善陽子
小児科診療, 76 (増) : 90-96, 2013.
- 8) 出生後診断された先天異常新生児の家族への対応 —新生児科医の対応 和田和子
周産期医学 染色体異常と先天異常症候群の診療ガイド, 43 (3) : 330-332, 2013.
- 9) 低酸素性虚血性脳症をめぐって 和田和子
大阪小児科医会会報, 168 : 17-18, 2014.
- 10) 医療者のための母乳育児教育のあり方を考える 医学生に対する教育 荒堀仁美
日本母乳哺育学会雑誌, 7 (1) : 3-6, 2013.
- 11) Outcomes of Pediatric Out-of-Hospital Cardiac Arrest. Kogaki S
Circulation Journal, 78 (3) : 595-596, 2014.
- 12) 【クローズアップ 新しい子どもの病気】循環器疾患<最近急に他科から問い合わせが多くなった疾患や病態>LEOPARD症候群 高橋邦彦, 小垣滋豊
小児内科, 45 (6) : 1111-1112, 2013.
- 13) 心臓病とつきあうということ 小垣滋豊
心臓をまもる, 593 : 12-15, 2013.

- 14) 肺高血圧症および心不全の治療の進歩 小垣滋豊
日本医事新報, 4685 : 43, 2014.
- 15) Wntシグナル 窪田拓生, 大藺恵一
内科, 111 (4) : 641-645, 2013.
- 16) 骨代謝関連検査 北岡太一, 大藺恵一
小児科診療, 76 増刊号 : 109-115, 2013.
- 17) ビタミンD欠乏症 難波範行
小児科, 54 (5) : 597-603, 2013.
- 18) 遺伝性骨粗鬆症 大藺恵一, 北岡太一, 窪田拓生, 難波範行
最新の骨粗鬆症学 一骨粗鬆症の最新知見一, 71 増刊号 2 : 583-588, 2013.
- 19) 尿細管最大リン再吸収閾値 藤原 誠, 大藺恵一
小児内科, 45 (5) : 947-950, 2013.
- 20) 軟骨無形成症・低形成症 難波範行
小児科臨床, 66 増刊号 : 1389-1396, 2013.
- 21) 新生児期の低カルシウム血症 難波範行
小児科学レクチャー, 3 (5) : 1086-1094, 2013.
- 22) 遺伝性低リン血症性くる病 藤原 誠, 大藺恵一
小児内科, 45 (9) : 1687-1690, 2013.
- 23) 副甲状腺機能低下症および偽性副甲状腺機能低下症 難波範行
内分泌・糖尿病・代謝内科, 37 (4) : 373-379, 2013.
- 24) 骨系統疾患の病態と治療 三浦弘司, 大藺恵一
CLINICAL CALCIUM, 23 (12) : 97-102, 2013.
- 25) 理解を助けるトレーニング問題 骨系統疾患の病態について 三浦弘司
CLINICAL CALCIUM, 23 (12) : 104, 2013.
- 26) くる病・骨軟化症診断マニュアル 大幡泰久, 大藺恵一
CLINICAL CALCIUM, 23 (10) : 29-36, 2013.
- 27) くる病と歯科疾患 窪田拓生
CLINICAL CALCIUM, 23 (10) : 105-110, 2013.
- 28) Wntシグナル経路の遺伝子異常による骨粗鬆症 窪田拓生, 大藺恵一
CLINICAL CALCIUM, 23 (6) : 69-74, 2013.
- 29) 先天代謝異常症に対する酵素補充療法の進展 酒井規夫, 難波範行, 大藺恵一
日本医事新報, 4685 : 40, 2014.

- 30) ファブリー病の疼痛 酒井規夫
小児科臨床, 66 : 2503-2505, 2013.
- 31) 遺伝子検査の目的 酒井規夫
周産期医学, 44 (2) : 149-151, 2014.
- 32) 巨大軸索ニューロパチー 赤木幹弘
神経症候群 (第2版) —その他の神経疾患を含めて— 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ, 27 : 887-890, 2014.
- 33) Panayiotopoulos症候群 青天目 信
小児科学レクチャー, 3 (6) : 1338-1346, 2013.
- 34) mTOR関連神経疾患に対する治療戦略の展望 —結節性硬化症と皮質形成異常・片側巨脳症
青天目 信
日本医事新報, 4685 : 40-41, 2014.
- 35) 難治性小児疾患に対する治療法の開発 大藪恵一
日本医事新報, 4685 : 38-39, 2014.
- 36) 小児血液腫瘍における分子生物学的進歩 橋井佳子
日本医事新報, 4685 : 41-42, 2014.
- 37) 新生児低酸素性虚血性脳症up date —低体温療法と脳保護療法の併用への期待 谷口英俊
日本医事新報, 4685 : 42-43, 2014.
- 38) 肺高血圧症および心不全の治療の進歩 小垣滋豊
日本医事新報, 4685 : 43, 2014.
- 39) 特集【自閉症の分子基盤】画像・生理 下野九理子, 谷池雅子
分子精神医学, 14 (2) : 9-15, 2014.
- 40) 小児の睡眠関連病態 小児科の立場から 加藤久美※, 毛利育子, 谷池雅子
小児耳鼻咽喉科, 34 (1) : 5-10, 2013.
- 41) クローズアップ 子どもの心の発達 遺伝学の観点から 谷池雅子, 毛利育子, 橘 雅弥
小児内科, 45 (8) : 1434-1437, 2013.
- 42) 子どもの眠りと健康 —小児科医として知っておきたい子どもの眠りのup to date?—
日本版幼児睡眠質問票 (子どもの眠りの質問票) の使い方 毛利育子, 谷池雅子, 加藤久美※
小児科臨床, 66 (10) : 2017-2026, 2013.
- 43) 科学的視点をもって発達障害児を支援する 谷池雅子
小児保健研究, 72 (2) : 173-176, 2013.
- 44) しつけを科学する 早寝早起き ～できるだけ早くから規則正しい睡眠を～ 谷池雅子
チャイルドヘルス, 16 (3) : 148-152, 2013.